

国語

国語の目標について

【教科の目標】

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- (2) 日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- (3) 言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

【学年・領域等の目標など】

[第1学年及び第2学年]

- (1) 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
- (2) 順序立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつことができるようにする。
- (3) 言葉がもつよさを感じるるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切にしてい、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

[第3学年及び第4学年]

- (1) 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
- (2) 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようにする。
- (3) 言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切にしてい、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

[第5学年及び第6学年]

- (1) 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
- (2) 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げることができるようにする。
- (3) 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

【参考】

○ 目標の改善

国語科で育成を目指す資質・能力を「国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力」と規定するとともに、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の三つの柱で整理した。また、このような資質・能力を育成するためには、児童が「言葉による見方・考え方」を働かせることが必要であることを示している。

学年の目標についても、従前、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の領域ごとに示していた目標を、教科の目標と同様に、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の三つの柱で整理した。

○ 標準授業時数

第1学年－306単位時間	第2学年－315単位時間	第3学年－245単位時間
第4学年－245単位時間	第5学年－175単位時間	第6学年－175単位時間

番号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
観点	2・東書	第1学年 第2学年 第3学年 第4学年 第5学年 第6学年	国語101、国語102 国語201、国語202 国語301、国語302 国語401、国語402 国語501 国語601	あたらしいこご一上、あたらしいこご一下 新しい国語二上、新しい国語二下 新しい国語三上、新しい国語三下 新しい国語四上、新しい国語四下 新しい国語五 新しい国語六
<p>取扱内容</p> <p>学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等</p>	<p>○ [知識及び技能] の内容については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1,2学年～ 昔話や神話・伝承の読み聞かせを聞いたり自分で読んだりして面白いと思ったところを発表する活動や、昔から伝わる色々な言い方を声に出して読む活動</p> <p>第3,4学年～ 身の回りで使用されている簡単な単語をローマ字で読み書きしたりコンピュータを使ってローマ字入力したりする活動や、ことわざや故事成語について知り、意味や使い方を調べカードにまとめる活動</p> <p>第5,6学年～ 「竹取物語」「平家物語」などの古文を言葉のリズムを大切に音読する活動や、日常生活の中で相手や場面に応じた敬語の使い方について考える活動</p> <p>○ 話すこと・聞くことについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1,2学年～ 聞いたことを正確に伝える活動や言われてうれしかった言葉について話し合う活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつ。</p> <p>第3,4学年～ メモを基に話の順序を組み立て話す活動や、司会や書記などの役割を決めて話し合う活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめる。</p> <p>第5,6学年～ 資料を使って自分の考えを発表する活動や異なる立場から考えを生かして話し合う活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げる。</p> <p>○ 書くことについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1,2学年～ メモを基に様子を伝える文章を書く活動や身の回りの人を紹介する文章を書く活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつ。</p> <p>第3,4学年～ 本などで調べたことをレポートにまとめる活動や地域のよさを伝えるリーフレットを作る活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめる。</p> <p>第5,6学年～ 資料を活用して報告する文章を書く活動や説得力のある意見文を書く活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げる。</p> <p>○ 読むことについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1,2学年～ 話の好きな場面を見つけて音読する活動や動物の秘密について調べ紹介する活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつ。</p> <p>第3,4学年～ 物語を読み想像したことを伝え合う活動や本の魅力を友達に伝える活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめる。</p> <p>第5,6学年～ 新聞記事を読み比べる活動や関連のある複数の本を読み友達に推薦する活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げる。</p>			

	<p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1,2学年～ 「つかむ」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、乗り物について調べカードに書いたり、書いたカードを友達と読み合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第3,4学年～ 「つかむ」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、事例と筆者の考えの関係を確かめたり、文章を読み考えたことを友達と話し合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第5,6学年～ 「つかむ」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、文章の構成に着目して筆者の説明の仕方を考えたり、資料の効果的な活用の仕方を話し合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p>
<p>内容の構成・排列・分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1,2学年～ 第1学年で、出来事の順序を考えて話す活動、第2学年で、伝えたいことを選んで話の構成を考えて話す活動を取り扱うなど、2学年を通じて系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第3,4学年～ 第3学年で、設定を生かし想像を広げて物語を書く活動、第4学年で、構成を考えて山場のある物語を書く活動を取り扱うなど、2学年を通じて系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第5,6学年～ 第5学年で、意図を明確にしてインタビューをする活動、第6学年で、話し手の考えと自分の考えを比べる活動を取り扱うなど、2学年を通じて系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第1学年～ 「話すこと・聞くこと」は13教材、「書くこと」は24教材、「読むこと」は19教材であり、総ページ数は310ページで、前回より約1%減となっている。(判型はB5判)</p> <p>第2学年～ 「話すこと・聞くこと」は5教材、「書くこと」は21教材、「読むこと」は12教材であり、総ページ数は342ページで、前回より約2%減となっている。(判型はB5判)</p> <p>第3学年～ 「話すこと・聞くこと」は6教材、「書くこと」は19教材、「読むこと」は12教材であり、総ページ数は350ページで、前回より約4%減となっている。(判型はB5判)</p> <p>第4学年～ 「話すこと・聞くこと」は5教材、「書くこと」は17教材、「読むこと」は12教材であり、総ページ数は350ページで、前回より約2%減となっている。(判型はB5判)</p> <p>第5学年～ 「話すこと・聞くこと」は5教材、「書くこと」は16教材、「読むこと」は13教材であり、総ページ数は303ページで、前回より約2%増となっている。(判型はB5判)</p> <p>第6学年～ 「話すこと・聞くこと」は5教材、「書くこと」は15教材、「読むこと」は11教材であり、総ページ数は303ページで、前回より約4%増となっている。(判型はB5判)</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 友達に好きな教科について伝える活動(第1学年)や身近な人に行事を案内する手紙を書く活動(第3学年)を通して、相手意識や目的意識を明確にするとともに、教材と関連のある図書を紹介した「こんな本もいっしょに」を掲載する(全学年)など、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 身に付けたい「言葉の力」を提示し課題を明確にしたり(全学年)、「ふり返る」で学習したことを確かめて成長を実感できるようにしたり(全学年)するなど、児童が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。</p> <p>○ 巻頭に「国語の学習の進め方」や「〇年で学習する言葉の力」を設け、年間を通して学習することを明確にしたり(第2～6学年)、シンプルなレイアウトや色使いにより、大事な情報に着目できるようにしたり(全学年)するなど、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>その他</p>	<p>※ 小学校用教科書目録(平成32年度使用 文部科学省)による</p> <p>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>

番号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
観点	11・学図	第1学年 第2学年 第3学年 第4学年 第5学年 第6学年	国語103、国語104 国語203、国語204 国語303、国語304 国語403、国語404 国語503、国語504 国語603、国語604	みんなと学ぶようがこうごね止、みんなと学ぶようがこうごね下 みんなと学ぶ小学校こくご二年上、みんなと学ぶ小学校こくご二年下 みんなと学ぶ小学校国語三年上、みんなと学ぶ小学校国語三年下 みんなと学ぶ小学校国語四年上、みんなと学ぶ小学校国語四年下 みんなと学ぶ小学校国語五年上、みんなと学ぶ小学校国語五年下 みんなと学ぶ小学校国語六年上、みんなと学ぶ小学校国語六年下
<p>取扱内容</p> <p>学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等</p>	<p>○ [知識及び技能] の内容については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1,2学年～ かぞえうたを通して数を表す漢字を書いたり読んだする活動や、声に出して確かめながら言葉の音数やアクセントによる語の意味の違いに気付く活動</p> <p>第3,4学年～ 身の回りで使われている簡単な単語をローマ字で書いたり読んだりする活動や、ことわざや故事成語の意味を国語辞典で調べ昔から言い伝えられてきた言葉に触れる活動</p> <p>第5,6学年～ 漢詩の言葉の調子やリズムに親しみながら朗読したり暗唱したりする活動や、日常よく使われる敬語を理解し相手や場面に応じて使い慣れる活動</p> <p>○ 話すこと・聞くことについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようにしている。</p> <p>第1,2学年～ 友達に伝えたいことを話す活動やグループで話し合っって考えをまとめる活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつ。</p> <p>第3,4学年～ 学級会で役割を決めて話し合う活動や互いの意見の共通点や相違点に着目する活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめる。</p> <p>第5,6学年～ 理由を明確にして自分の考えを提案する活動やパネルディスカッションを行う活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げる。</p> <p>○ 書くことについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようにしている。</p> <p>第1,2学年～ 観察して気が付いたことを書く活動や二つのものを比べて分かったことを文章にまとめる活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつ。</p> <p>第3,4学年～ 食べ物の秘密について調べて書く活動や紹介したいことについてチラシを作成する活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめる。</p> <p>第5,6学年～ 図表を使い調べたことをまとめる活動や構成を工夫して説得力が増す文章を書く活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げる。</p> <p>○ 読むことについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようにしている。</p> <p>第1,2学年～ 役割を決めて劇をする活動や場面を分けて順序を確かめながら読む活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつ。</p> <p>第3,4学年～ 物語の面白さから問いを作っって感想を交流する活動や物語の内容や登場人物の魅力を紹介し合う活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめる。</p> <p>第5,6学年～ 伝記を読み人物像を捉える活動や筆者の主張について友達と意見を共有する活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げる。</p>			

	<p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1,2学年～ 「がくしゅうのてびき」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、問いの文と答えを見付けたり、考えたことを友達と話し合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第3,4学年～ 「学習のてびき」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、段落相互の関係を考えたり、文章を読み分かったことを友達と話し合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第5,6学年～ 「学習のてびき」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、事実と意見との関係を押さえ要旨をまとめたり、考えたことを友達と伝え合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p>
<p>内容の構成・排列、分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1,2学年～ 第1学年で、伝えたい事柄の順番を考えて話す活動、第2学年で、伝えたい事柄を行動したことや経験したことに基づいて話す活動を取り扱うなど、2学年を通じて系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第3,4学年～ 第3学年で、文章の構成を考えて報告する文章を書く活動、第4学年で、見学したことの中心を明らかにして新聞にまとめる活動を取り扱うなど、2学年を通じて系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第5,6学年～ 第5学年で、意見や主張が読み手に伝わりやすい文章の構成を考える活動、第6学年で、複数の意見を基に説得力のある意見文を書く活動を取り扱うなど、2学年を通じて系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第1学年～ 「話すこと・聞くこと」は11教材、「書くこと」は22教材、「読むこと」は17教材であり、総ページ数は264ページで、前回より約1%増となっている。(判型はB5判)</p> <p>第2学年～ 「話すこと・聞くこと」は8教材、「書くこと」は16教材、「読むこと」は19教材であり、総ページ数は276ページで、前回より約5%減となっている。(判型はB5判)</p> <p>第3学年～ 「話すこと・聞くこと」は9教材、「書くこと」は20教材、「読むこと」は13教材であり、総ページ数は306ページで、前回より約3%増となっている。(判型はB5判)</p> <p>第4学年～ 「話すこと・聞くこと」は10教材、「書くこと」は16教材、「読むこと」は15教材であり、総ページ数は310ページで、前回と同じとなっている。(判型はB5判)</p> <p>第5学年～ 「話すこと・聞くこと」は5教材、「書くこと」は15教材、「読むこと」は15教材であり、総ページ数は336ページで、前回と同じとなっている。(判型はB5判)</p> <p>第6学年～ 「話すこと・聞くこと」は5教材、「書くこと」は15教材、「読むこと」は14教材であり、総ページ数は326ページで、前回より約4%減となっている。(判型はB5判)</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 夏休みの思い出について学級で発表し合う活動(第1学年)やお世話になった人などに礼状を書く活動(第4学年)を通して、相手意識や目的意識を明確にするとともに、教材と関連のある図書を紹介した「読書の部屋」を掲載する(全学年)など、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 「学習のてびき」に学習のプロセスを示したり(全学年)、「〇年生をふり返って」で一年間の学びを振り返り今後の学習に生かせるようにしたり(全学年)するなど、児童が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。</p> <p>○ 上巻の巻頭に「見つける・見つめる」を掲載し、身の回りから語彙や出来事を書きためることができるようにしたり(第2～6学年)、ユニバーサルデザインに配慮し、文字の大きさ、書体、囲みや罫線による地の文との区別、色使いなどのレイアウトを工夫したり(全学年)するなど、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>その他</p>	<p>※ 小学校用教科書目録(平成32年度使用 文部科学省)による</p> <p>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>

番号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
観点	17・教出	第1学年 第2学年 第3学年 第4学年 第5学年 第6学年	国語105、国語106 国語205、国語206 国語305、国語306 国語405、国語406 国語505、国語506 国語605、国語606	ひろがることばようがくこくご一上、ひろがることばようがくこくご下 ひろがることば小学国語二上、ひろがることば小学国語二下 ひろがる言葉小学国語三上、ひろがる言葉小学国語三下 ひろがる言葉小学国語四上、ひろがる言葉小学国語四下 ひろがる言葉小学国語五上、ひろがる言葉小学国語五下 ひろがる言葉小学国語六上、ひろがる言葉小学国語六下
<p>取扱内容</p> <p>学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等</p>	<p>○ [知識及び技能] の内容については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1,2学年～ 民話や神話の読み聞かせを聞いたり自分で読んだりして面白かったところを発表したりする活動や、言葉をかけられてうれしかった経験を紹介し合い、気持ちが伝わる言葉を考える活動</p> <p>第3,4学年～ 身の回りで使われている簡単な単語をローマ字で読み書きしたり自分の名前をコンピュータを使ってローマ字入力したりする活動や、故事成語を集めて意味を調べカードにまとめる活動</p> <p>第5,6学年～ 「春暁」「静夜思」などの漢文の響きを味わいながら読む活動や、話し言葉と書き言葉の違いに気付いたり日常よく使われる敬語の使い方に慣れたりする活動</p> <p>○ 話すこと・聞くことについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1,2学年～ 聞いたことをメモを使って正確に伝える活動やグループで話し合っ て考えをまとめる活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝 え合う力を高め、自分の思いや考えをもつ。</p> <p>第3,4学年～ メモを基に話の構成を考えて発表する活動や司会や提案者などの役割 を決めて話し合う活動を通して、日常生活における人との関わりの中で 伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめる。</p> <p>第5,6学年～ 伝える目的に応じた資料を用いて発表する活動やパネルディスカッ ションを行う活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え 合う力を高め、自分の思いや考えを広げる。</p> <p>○ 書くことについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるよう になっている。</p> <p>第1,2学年～ メモを基に見付けたことを書く活動や町探検で見付けたことを報告す る文章を書く活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え 合う力を高め、自分の思いや考えをもつ。</p> <p>第3,4学年～ 調べた生き物について説明する文章を書く活動や図表の効果を考え て新聞を作る活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え 合う力を高め、自分の思いや考えをまとめる。</p> <p>第5,6学年～ 構成を考えてポスターを作る活動や書く分量や内容を工夫してパンフ レットを作る活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え 合う力を高め、自分の思いや考えを広げる。</p> <p>○ 読むことについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるよう になっている。</p> <p>第1,2学年～ 話の好きな場面を紹介する活動や生き物が成長する様子について写真 を使い説明する活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝 え合う力を高め、自分の思いや考えをもつ。</p> <p>第3,4学年～ 物語の面白いところをカードにまとめる活動や紹介したい本を選び発 表する活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力 を高め、自分の思いや考えをまとめる。</p> <p>第5,6学年～ 印象に残った本を推薦する活動や伝記を読み人物の生き方について考 える活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力 を高め、自分の思いや考えを広げる。</p>			

	<p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1,2学年～ 「～よう（てびき）」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、文章と絵を合わせて読み身ぶりについて考えたり、考えたことを友達と読み合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第3,4学年～ 「～よう（てびき）」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、段落の要点を整理したり、文章を読み分かったことを友達と交流したりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第5,6学年～ 「～よう（てびき）」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、文章の構成に着目して論の進め方を整理したり、考えたことを友達と話し合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p>
<p>内容の構成・排列・分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1,2学年～ 第1学年で、夏休みの出来事を思い出しながら質問し合う活動、第2学年で、昔の遊びについて順序に気を付けて話す活動を取り扱うなど、2学年を通じて系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第3,4学年～ 第3学年で、調べたことの中から中心にする内容を決めて報告文を書く活動、第4学年で、構成を考えて報告するリーフレットを作る活動を取り扱うなど、2学年を通じて系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第5,6学年～ 第5学年で、根拠となる資料を用いて意見文を書く活動、第6学年で、理由や根拠を示して説得力のある意見文を書く活動を取り扱うなど、2学年を通じて系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第1学年～ 「話すこと・聞くこと」は10教材、「書くこと」は14教材、「読むこと」は19教材であり、総ページ数は310ページで、前回より約9%増となっている。（判型はB5判）</p> <p>第2学年～ 「話すこと・聞くこと」は10教材、「書くこと」は19教材、「読むこと」は15教材であり、総ページ数は324ページで、前回より約9%増となっている。（判型はB5判）</p> <p>第3学年～ 「話すこと・聞くこと」は10教材、「書くこと」は25教材、「読むこと」は13教材であり、総ページ数は320ページで、前回より約7%増となっている。（判型はB5判）</p> <p>第4学年～ 「話すこと・聞くこと」は10教材、「書くこと」は23教材、「読むこと」は13教材であり、総ページ数は342ページで、前回より約10%増となっている。（判型はB5判）</p> <p>第5学年～ 「話すこと・聞くこと」は8教材、「書くこと」は24教材、「読むこと」は13教材であり、総ページ数は332ページで、前回より約8%増となっている。（判型はB5判）</p> <p>第6学年～ 「話すこと・聞くこと」は9教材、「書くこと」は21教材、「読むこと」は13教材であり、総ページ数は336ページで、前回より約2%増となっている。（判型はB5判）</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 友達に新しく知ったことを伝える活動（第1学年）や写真や図表を効果的に使い他の学年の人たちに伝える新聞を作る活動（第4学年）を通して、相手意識や目的意識を明確にするとともに、教材と関連のある図書を紹介した「本を読もう」を掲載する（全学年）など、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 「～よう（てびき）」に学習の進め方を示したり（全学年）、「ここが大事」に汎用性のある学習のポイントを紹介したり（全学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。</p> <p>○ 巻頭に「○年生で学ぶこと」を設け、学習内容を概観することができるようにしたり（全学年）、色覚などの特性を踏まえた判読しやすい配色やレイアウト、表現方法、文字などの工夫により、学びやすい紙面づくりに配慮したり（全学年）するなど、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>その他</p>	<p>※ 小学校用教科書目録（平成32年度使用 文部科学省）による</p> <p>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>

番号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
観点	38・光村	第1学年 第2学年 第3学年 第4学年 第5学年 第6学年	国語107、国語108 国語207、国語208 国語307、国語308 国語407、国語408 国語507 国語607	こくご一上かざぐるま、こくご一下ともだち こくご二上たんぼぼ、こくご二下赤とんぼ 国語三上わかば、国語三下あおぞら 国語四上かがやき、国語四下はばたき 国語五銀河 国語六創造
<p>取扱内容</p> <p>学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等</p>	<p>○ [知識及び技能] の内容については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1,2学年～ 昔話の読み聞かせを聞いたり自分で読んだりして面白いと思ったところを発表する活動や、観察したことを記録する文章を書き身近なことを表す語句の量を増し、文章の中で使う活動</p> <p>第3,4学年～ 日常生活で使われている簡単な単語についてローマ字で書いたり読んだりする活動や、短歌や俳句をリズムを感じ取りながら音読する活動</p> <p>第5,6学年～ 「竹取物語」「平家物語」などの古文をリズムを味わいながら音読する活動や、話し言葉と書き言葉の違いに気付いたり日常よく使われる敬語の使い方に慣れたりする活動</p> <p>○ 話すこと・聞くことについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようにしている。</p> <p>第1,2学年～ 身近なものについて問題を出し合う活動やあったらいいなと思うものを発表する活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつ。</p> <p>第3,4学年～ 伝えたいことを理由を挙げて話す活動や司会や記録係などの役割を決めて話し合う活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめる。</p> <p>第5,6学年～ 事実と意見を区別して提案する活動や議題を決めてグループごとに話し合う活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げる。</p> <p>○ 書くことについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようにしている。</p> <p>第1,2学年～ 生き物について報告する文章を書く活動やおもちゃの作り方を説明する文章を書く活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつ。</p> <p>第3,4学年～ 仕事について報告する文章を書く活動や事実を分かりやすく伝える新聞を作る活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめる。</p> <p>第5,6学年～ 事実と意見を区別して意見文を書く活動や構成を工夫してパンフレットを作る活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げる。</p> <p>○ 読むことについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようにしている。</p> <p>第1,2学年～ 自動車について説明した文章をノートにまとめる活動や生き物が登場する文章を音読劇にしながら読む活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつ。</p> <p>第3,4学年～ 場面を比べながら読み感じたことをまとめる活動や登場人物の変化を中心に読み物語の魅力を紹介する活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめる。</p> <p>第5,6学年～ 伝記を読み自分の生き方について考える活動や複数の文章を読み考えたことを交流する活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げる。</p>			

	<p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1,2学年～ 「がくしゅう」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、文章に書かれている内容を比べながら読んだり、本を読み分かったことを友達に知らせたりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第3,4学年～ 「学習」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、中心となる語や文を確かめながら読んだり、文章を読んだ感想をグループで伝え合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第5,6学年～ 「学習」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、文章の表現や構成に注意して要旨をまとめたり、筆者の考えに対する自分の考えを発表したりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p>
<p>内容の構成・排列・分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1,2学年～ 第1学年で、好きなものとその理由について話す活動、第2学年で、楽しかったことなどについて順序を考えて発表する活動を取り扱うなど、2学年を通じて系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第3,4学年～ 第3学年で、事例を複数挙げながら説明する文章を書く活動、第4学年で、構成を考えて説明するリーフレットを作る活動を取り扱うなど、2学年を通じて系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第5,6学年～ 第5学年で、構成を工夫しスピーチをする活動、第6学年で、話し方や資料の提示の仕方などを工夫しスピーチをする活動を取り扱うなど、2学年を通じて系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第1学年～ 「話すこと・聞くこと」は13教材、「書くこと」は24教材、「読むこと」は17教材であり、総ページ数は268ページで、前回より約1%減となっている。(判型はB5判)</p> <p>第2学年～ 「話すこと・聞くこと」は6教材、「書くこと」は21教材、「読むこと」は13教材であり、総ページ数は320ページで、前回より約16%増となっている。(判型はB5判)</p> <p>第3学年～ 「話すこと・聞くこと」は5教材、「書くこと」は21教材、「読むこと」は13教材であり、総ページ数は320ページで、前回より約10%増となっている。(判型はB5判)</p> <p>第4学年～ 「話すこと・聞くこと」は5教材、「書くこと」は18教材、「読むこと」は14教材であり、総ページ数は324ページで、前回より約9%増となっている。(判型はB5判)</p> <p>第5学年～ 「話すこと・聞くこと」は5教材、「書くこと」は17教材、「読むこと」は12教材であり、総ページ数は296ページで、前回より約4%増となっている。(判型はB5判)</p> <p>第6学年～ 「話すこと・聞くこと」は5教材、「書くこと」は17教材、「読むこと」は13教材であり、総ページ数は310ページで、前回より約9%増となっている。(判型はB5判)</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 家の人に学校にいる生き物などを知らせる活動(第1学年)やアンケート調査などを行いグループで新聞を作る活動(第4学年)を通して、相手意識や目的意識を明確にするとともに、図書館の活用方法や多様なジャンルの読み物を「本は友達」に掲載する(全学年)など、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 「学習」で読みの学習過程を明示したり(第2～6学年)、「学習の進め方」で明確な見通しをもって学ぶことができるようにしたり(第2～6学年)するなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 巻末の付録に「学習を広げよう」を掲載し、他教科や日常生活に広げて活用できるようにしたり(第2～6学年)、図書紹介のページのように文字がやや小さい教材には、読みやすさを強調して作られたユニバーサルデザインフォントを使用したり(全学年)するなど、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>その他</p>	<p>※ 小学校用教科書目録(平成32年度使用 文部科学省)による</p> <p>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>

様式 3

◎調査項目

- ① 「知識及び技能」、「A話すこと・聞くこと」、「B書くこと」及び「C読むこと」の教材数と総ページ数
- ② 伝統的な言語文化にかかわる教材数
- ③ 発展的な学習内容を取り上げている教材数
- ④ 北海道とかかわりのある内容を取り上げている資料等の数
- ⑤ URL・QRコードを掲載している箇所数

◎調査項目にした理由

- ① 「知識及び技能」及び「思考力、判断力、表現力等」を偏りなく養うことが求められていることから、領域ごとや全体としての分量について把握する必要があるため。
- ② 我が国の伝統や文化に対する関心や理解を深めることが求められていることから、伝統的な言語文化にかかわる教材の掲載の状況について把握する必要があるため。
- ③ 児童の系統的な学習に資するよう、教科書上において「発展的な学習内容」であることを可能な範囲で明示することが求められていることから、発展的な学習内容の掲載の状況について把握する必要があるため。
- ④ 児童の興味・関心を生かした学習が促されるよう工夫することが求められていることから、北海道にかかわりのある内容の掲載の状況について把握する必要があるため。
- ⑤ 学習上の参考に供するために必要な情報の適切な取扱いが求められていることから、児童の主体的な学習につながるURL・QRコードの掲載の状況について把握する必要があるため。

様式 4

※調査項目が網掛けになっている項目は、別記にデータを掲載していることを示す。

調査項目		発行者						東書						学図						教出						光村					
		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6						
①	領域の教材数	知識及び技能	57	39	35	33	31	30	62	62	60	57	54	49	65	48	48	49	44	42	60	49	47	46	46	45					
		(2)情報の扱い方に関する事項	8	7	12	9	8	10	7	14	13	11	7	6	0	7	10	15	11	8	5	6	11	12	5	4					
		A 話すこと・聞くこと	13	5	6	5	5	5	11	8	9	10	5	5	10	10	10	10	8	9	13	6	5	5	5	5					
		B 書くこと	24	21	19	17	16	15	22	16	20	16	15	15	14	19	25	23	24	21	24	21	21	18	17	17					
		C 読むこと	19	12	12	12	13	11	17	19	13	15	15	14	19	15	13	13	13	13	17	13	13	14	12	13					
		総ページ数	310	342	350	350	303	303	264	276	306	310	336	326	310	324	320	342	332	336	268	320	320	324	296	310					
		前回の総ページ数	312	350	366	358	298	290	262	292	298	310	336	338	284	296	300	310	308	328	272	276	292	298	284	284					
	増減	-1%	-2%	-4%	-2%	2%	4%	1%	-5%	3%	0%	0%	-4%	9%	9%	7%	10%	8%	2%	-1%	16%	10%	9%	4%	9%						
②	伝統的な言語文化にかかわる教材数	3	3	2	2	2	3	5	2	7	6	5	2	3	4	4	2	2	5	4	3	3	7	4	4						
③	発展的な学習内容を取り上げている教材数 (※1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0						
④	北海道とかかわりのある内容を取り上げている資料等の数	1	0	0	3	2	2	0	1	2	1	0	1	0	4	1	2	3	4	3	3	2	6	1	7						
⑤	URL・QRコードを掲載している箇所数 (※2)	0	0	20	20	18	15	8	10	10	11	13	12	10	11	15	20	14	18	19	13	24	22	19	24						

※次に示す発行者及び学年は合本（合冊）になっている。

東書…第5学年、第6学年 光村…第5学年、第6学年

(※1) 調査項目③の「発展的な学習内容を取り上げている教材数」については、各者発行の「編修趣意書」の「発展的な学習内容の記述」に掲載されている教材を対象とする。

(※2) 調査項目⑤の「URL・QRコードを掲載している箇所数」については、東書はURL、QRコード、「Dマーク」、学図はURL、QRコード、教出はURL、QRコード、「まなびリンク」、光村はURL、QRコードを対象とする。

別記

様式4の調査項目②[伝統的な言語文化にかかわる教材数]の具体的な内容

発行者（東書）

学年	教材名	内容	ページ
1	ことばあそび	言葉	上 P 62
	ことばであそぼう	言葉	下 P 60
	むかしばなしをたのしもう	昔話	下 P 88
2	言いつたえられているお話を知ろう	神話、伝承	上 P 96
	かさこじぞう	昔話	下 P 78
	おばあちゃんに聞いたよ	十二支、小の月、いろは歌、いろはかるた、きょう土かるた	下 P 100
3	慣用句を使おう	慣用句	上 P 86
	俳句に親しむ	俳句	下 P 74
4	ことわざと故事成語	ことわざ、故事成語	上 P 80
	百人一首の世界	百人一首	下 P 72
5	古文に親しむ	古文	P 136
	古文のえがく四季	古文	P 200
6	漢文に親しむ	漢文	P 128
	いにしえの言葉に学ぶ	古文	P 196

別記

様式4の調査項目②[伝統的な言語文化にかかわる教材数]の具体的な内容

発行者（学図）

学年	教材名	内 容	ページ
1	ことばあそび	言葉	上 P 24
	かるたをつくろう	かるた	上 P 44
	さるじぞう	昔話	上 P 114
2	ことばであそぼう	言葉	上 P 66
	ヤマタノオロチ	物語	上 P 112
	ことばであそぼう 1	言葉	下 P 36
	かさこじぞう	昔話	下 P 54
	ことばであそぼう 2	言葉	下 P 100
3	俳句	俳句	上 P 52
	慣用句	言葉	下 P 18
4	季節のたより（春）	季語	上 P 32
	季節のたより（夏）	季語	上 P 64
	短歌	短歌	上 P 118
	季節のたより（秋）	季語	下 P 18
	ことわざ・故事成語	ことわざ・故事成語	下 P 20
	日本各地の短歌	短歌	下 P 62
	季節のたより（冬）	季語	下 P 68
5	季節のたより（春）	季語	上 P 36
	季節のたより（夏）	季語	上 P 70
	宇治拾遺物語	古文	上 P 120
	季節のたより（秋）	季語	下 P 16
	季節のたより（冬）	季語	下 P 58
	文語詩 やしの実	文語詩	下 P 82
6	季節のたより（春）	季語	上 P 34
	季節のたより（夏）	季語	上 P 66
	季節のたより（秋）	季語	下 P 24
	狂言 盆山／漢詩	狂言 漢詩	下 P 26
	季節のたより（冬）	季語	下 P 68

別記

様式4の調査項目②[伝統的な言語文化にかかわる教材数]の具体的な内容

発行者（教出）

学年	教材名	内容	ページ
1	天にのぼったおけやさん	昔話	下 P 56
	しりとりであそぼう	文化	下 P 122
2	「言葉あそび」をしよう	文化	上 P 50
	いなばのしろうさぎ	神話	上 P 86
	むかしのあそび	文化	下 P 96
3	俳句に親しむ	俳句	上 P 62
	きせつの言葉を集めよう	季語	上 P 100
	ことわざ・慣用句	ことわざ、慣用句	下 P 62
	十二支と月のよび名	文化	下 P 94
4	短歌の世界	短歌	上 P 64
	「月」のつく言葉	ことば	上 P 132
	故事成語	故事成語	下 P 66
	雪	文化、詩、俳句、和歌、ことば	下 P 110
5	漢文に親しむ	漢文	上 P 66
	「古典」を楽しむ	古典	下 P 20
6	春はあけぼの	随筆	上 P 22
	言葉は時代とともに	和歌、短歌、小説、ことば	下 P 24

別記

様式4の調査項目②[伝統的な言語文化にかかわる教材数]の具体的な内容

発行者（光村）

学年	教材名	内容	ページ
1	うたにあわせてあいうえお	言葉	上 P 22
	あいうえおであそぼう	言葉	上 P 62
	おむすびころりん	昔話	上 P 86
	ことばをたのしもう	言葉	下 P 22
	わらしべちょうじゃ	昔話	下 P 62
2	いなばの白うさぎ	昔話	上 P 38
	ことばあそびをしよう	伝統的な言葉	上 P 127
	せかい一の話	昔話	下 P 52
	ことばを楽しもう	伝統的な言葉	下 P 106
3	俳句を楽しもう	昔話	上 P 85
	ことわざ・故事成語	伝統的な言葉	下 P 56
	短歌を楽しもう	昔話	下 P 62
4	短歌・俳句に親しもう（一）	昔話	上 P 84
	慣用句	伝統的な言葉	下 P 58
	短歌・俳句に親しもう（二）	昔話	下 P 60
5	春の空	言葉	P 36
	古典の世界（一）	昔話	P 64
	夏の夜	言葉	P 80
	秋の夕暮れ	言葉	P 126
	古典芸能の世界－語りで伝える	伝統的な言葉	P 154
	古典の世界（二）	昔話	P 158
	冬の朝	言葉	P 180
6	たのしみは	短歌	P 60
	天地の文	昔話	P 66
	古典芸能の世界－演じて伝える	狂言・能・歌舞伎・人形浄瑠璃	P 158
	狂言 柿山伏「柿山伏について」	狂言	P 163

別記

様式4の調査項目④[北海道とかかわりのある内容を取り上げている資料等]の具体的な内容

者	学年	単元及び教材名	北海道とかかわりのある内容	ページ
東 書	1	いろいろなふね	「のりものくらべ『電車やてつ道』」(写真)	下 P 52
	4	四年生の本だな	『しまふくろうのみずうみ』手島圭三郎(紹介)	上 P 102
		都道府県の漢字	北海道(記述)	下 P 108
		付録「日本の短歌」	「阿寒」石川啄木(記述) 「北海道・阿寒湖」(写真)	下 P 156
	5	漢字の練習	「北海道」(記述)	P 89
		季節の足音	「釧路」石川啄木(記述)	P 198
	6	風切るつばさ	『あらしのよるに』あべ弘士(紹介)	P 68
		六年生の本だな	『北の国から 前編・後編』倉本聰(紹介)	P 89
学 図	2	どんぐり	「北海道のミズナラの木」(記述、写真)	下 P 78
	3	つり橋わたれ	『つり橋わたれ』小泉るみ子(紹介)	上 P 16
		あらしの夜に	『あらしの夜に』あべ弘士(紹介)	上 P 96
	4	日本各地の短歌	「石川啄木」(紹介)	下 P 62
6	資料編	『イランカラプテの心』新井満(紹介)	下 P 140	
教 出	2	ふろく「2年生で読みたい本①」	『チロヌップのきつね』たかはしひろゆき(紹介)	上 P 140
		本を読もう	『ピリカ、おかあさんへの旅』(紹介)	下 P 17
		ふろく「2年生で読みたい本③」	『ねこのおんがえし』なかがわりえこ(紹介)	下 P 144
			『1ねん1くみ1ばんワル』ごとうりゅうじ(紹介)	下 P 145
	3	ふろく「3年生で読みたい本③」	『ハクチョウ』(紹介)	下 P 137
	4	都道府県名に用いる漢字	「北海道」(記述)	上 P 104
		調べてわかったことを発表しよう	「札幌」「函館」(図)	下 P 100
	5	新聞を読もう	「高木奈那、高木美帆、佐藤綾乃」(写真、記述)	上 P 36、37
		ポスターを作ろう	「雪のふる町科学館」「札幌市」(紹介、記述)	上 P 63
		付録「5年生で読みたい本③」	『おおはくちょうのそら』手島圭三郎(紹介)	下 P 154
	6	雪は新しいエネルギー	『雪は新しいエネルギー』(写真、記述、図)	上 P 51、54~61
		伊能忠敬	『伊能忠敬』(記述、図)	下 P 78~97
付録「伝えられてきた作品」		『アイヌ神謡集』(紹介)	下 P 132	
付録「言葉のまとめ」		「蝦夷地」(記述)	下 P 143	
光 村	1	ことばを たのしもう	『ぞうさんのぼうし』なかがわりえこ(紹介)	下 P 22
		ふろく「この本、よもう」	『たんたのたんけん』なかがわりえこ(紹介)	下 P 124
			『へんてこもりにいこうよ』たかどのほうこ(紹介)	下 P 125
	2	聞いて楽しもう	『いなばの 白うさぎ』なかがわりえこ(紹介)	上 P 38、39、144 ~147
		『いなばの 白うさぎ』		
		この本、読もう	『カムイチカプ』(紹介)	上 P 40
		ふろく「本のせかいをひろげよう」	『森おばけ』なかがわりえこ(紹介)	下 P 140
	3	ふろく「本の世界を広げよう」	『いのちのいれもの』小菅正夫(紹介)	上 P 141
		ふろく「本の世界を広げよう」	『アイヌのむかしばなし ひまなこなべ』萱野茂(紹介)	下 P 144
	4	カンジーはかせの都道府県の旅1	「北海道」(記述)	上 P 60
		パンフレットを読もう	「札幌市水道局」(図)	上 P 120
		付録「本の世界を広げよう」	『ニレの木広場のモモモ館』高楼方子(紹介)	上 P 137
	『どうぶつ会』あべ弘士(紹介)		上 P 139	

	世界にほこる和紙 伝統工芸のよさを伝えよう	「二風谷イタ」(写真)	下 P 43
	短歌・俳句に親しもう (二)	「石川啄木」(紹介)	下 P 60
5	固有種が教えてくれること	「北海道」(記述)	P 141
6	海の命	「伊勢英子」(紹介)	P 218
	この本、読もう	『チェロの木』伊勢英子(紹介)	P 232
	言葉の交流	「アイヌ語の地名が伝えること」(記述)	P 259
	付録「本の世界を広げよう」	『ルリユールおじさん』いせひでこ(紹介)	P 265
		『世界一おいしい火山の本』林信太郎(紹介)	P 266
『サキサキ オノマトペの短歌』穂村弘(紹介)		P 267	
		『いのる』長倉洋海(紹介)	P 268